

## 「秋田大学学生海外派遣支援事業」帰国報告書

記入日:2012年9月28日

所属: 教育文化学部 国際言語文化課程・国際コミュニケーション選修4年

氏名: 桑島佳代

派遣先大学名: カリアリ大学 (イタリア)

在籍身分: 交換留学生

派遣期間: 2011年10月~2012年7月

渡航年月日: 2011年9月23日

帰国年月日: 2012年8月17日

### ● 派遣先大学における授業等の履修状況

授業名	履修期間	講義時間 (週)	取得単位数
Letteratura comparata (比較文学)	1st semester	4 時間	6.00
Lingua itariana A1 (イタリア語)	1st semester	6 時間	6.00
Lingue e letterature ANGRO-AMERICANE (アメリカ文学)	1st semester	6 時間	12.00
Lingua italiana B1 (イタリア語)	2nd semester	4 時間	3.00
Letteratura comparata (比較文学)	2nd semester	4 時間	6.00

### ● 研究・学習概要及び今後の勉学計画

私が重点をおいて取り組んだのが語学(イタリア語)の授業でした。クラスが細かく分かれていて、毎回学期の初めのクラス分けテストで決められます。頑張りによっては飛び級もあります!留学生たちの多くはラテン人で、彼らにとってはイタリア語を学ぶことは方言を覚えるような感覚だそうで、いとも簡単にマスターしてしまうのです。それに加えて英語のレベル、コミュニケーション能力の高さ。だからくやしくてくやしくて、必死に勉強しました。世界各国の学生がどのようなことを勉強していて、どんな考え方を持っているのかなど実際に目の当たりにし、自身の知的好奇心が刺激されました。今後は、イタリア語試験 CILS のテストに向けて、またビジネスとしてイタリア語を十分に運用できるようにスキルアップを続けていきます。

- 生活面について

留学中はイタリア人の学生とともに寮で生活していました。気さくで、明るい寮の友達、特にルームメイトとは一緒に晩御飯を食べたり買い物したり深夜のガールズトークだったり、本当にかげがえのない時間を過ごしました。留学生だから外国人だからということではなく、一人の友人として接してくれたことがとても幸せでした。またカリアリ大学には1学期に約200人の留学生がきます。なので、つねに新しい友達と交流できるのも楽しかったですし、留学生でいくショートトリップやパーティーなど、アクティビティも沢山ありました。自国の料理をふるまうホームパーティーだったり、授業の後にバーにみんなで集まって様々なことを話したり、ヨーロッパ各国、中東やアフリカからなど世界各国の学生と交流して良い刺激を受けました。また趣味としてスペイン人の友達と始めたキックボクシングのジムに、ラジオの収録など、常に新しいことにチャレンジする機会も多かったため、忙しく充実した生活を送っていたと思います。



8月いつものバーでお別れ会



12月田舎でBBQ

- 全般にわたる感想

第二外国語を身につけたい。というシンプルな目標を持って挑戦したイタリア留学ですが、日本人としての誇りやアイデンティティーの変化、もっといろんなことに挑戦したいというハングリー精神、イタリア語の取得によって見えてきた新しい将来の目標など、語学力はもちろん、素晴らしい経験と精神力を得ることができました。英語力の高い留学生たちに囲まれて、イタリア語しか通じない街で勉強する。語学学習がしたかった私にとってこんなに恵まれた環境はなかったと思います。美しい街並みにエメラルドグリーンの海、おいしいご飯に、なんととっても陽気でおしゃべり大好きなカリアリの人々、すっかり私はサルディーニャ島の虜となりました。このような貴重な経験、援助を与えて下さった秋田大学と協力していただいた皆様に感謝し、またこれを機会に秋田大学とカリアリ大学、秋田とサルディーニャ島のつながりが素晴らしいものになることを願っています。



美しい海、サルデーニャは世界有数のリゾート地!!

カリアリの街をバックに留学生の友達と  
↓

